



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



エフコムベースボールクラブ

第32回JABA東北地区連盟会長旗争奪野球大会

◇◇試合結果◇◇

1回戦	V S	B - n e t / y a m a g a t a	(7 対 0)	勝利
2回戦	V S	ゴールデンリバー	(1 3 対 5)	勝利
3回戦	V S	東北マークス	(1 対 0)	勝利

エフコム鈴木 哲 監督代理、主将の松嶋 拓郎 内野手、山形胤舜 投手、伊藤 琉晟 外野手より
本大会のコメントをいただきました！

鈴木 哲 監督代理

決勝までの3試合、それぞれ全く違う展開で難しい流れでしたが、選手たちが最後まで粘り強く戦ってくれました。
今年最後の公式戦、優勝旗を持ち帰ることができてホッとしています。
今シーズン応援していただいた皆様には心より感謝申し上げます。
ありがとうございました。

松嶋 拓郎 内野手 (主将)

今シーズンも熱い声援ありがとうございました！
難しい展開の連続でしたが、皆様の応援のおかげで優勝気を掴み取り、最高の形で今年最後の公式戦を締めくくることができました。
来年はついに、地元・福島でクラブ野球全国大会が開催されます。
この冬でさらに進化し、地元の皆様の前で必ず日本一を掴み取ります！
来年もともに戦ってください。

山形 胤舜 投手

今年1年間、たくさんの応援とサポート、本当にありがとうございました。
大会のたびに遠くまで駆けつけてくださって、心から感謝しています。
みなさんの応援のおかげで、最後に優勝することができて本当にうれしいです。
来年もチーム一丸となって、もっとレベルアップできるようがんばりますので、これからも応援よろしくお願いします。

伊藤 琉晟 外野手

最後まで熱いご声援をいただき、ありがとうございました。
皆様の応援が大きな支えとなりました。
この経験を次につなげ、さらに成長した姿をお見せできるよう努力してまいります。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

一回戦 V S B - n e t / y a m a g a t a

第32回JABA東北地区連盟会長旗争奪野球大会初戦の舞台は秋田県の「さきがけ八橋球場」。

初戦のエフコムBCの先発は爽やかイケメン佐野。相手は山形県のB-net/yamagata。試合は初回から動く。

1番中居、2番大平の連続ヒットで無死一、二塁とすると、3番八百板の打球を相手右翼手が落球する間に先制。続く4番伊藤（海）の投ゴロの間に1点を加え、6番吉田のタイムリーでこの一回挙3点を奪います。

2回、3回は相手先発先崎の前に無得点でしたが、それでも4回、4番伊藤（海）、5番松嶋の連打から6番吉田がライトへ豪快なスリーランを放ち6-0。さらに8番伊藤（琉）のヒットと9番大川の送りバントでチャンスを作り、2番大平のタイムリーで1点を追加して7-0とリードを広げました。

5回、6回も毎回ランナーを出し最後まで攻撃の手をゆるめませんでした。投手陣は、先発佐野が初回、味方のエラーで二塁に走者を背負うも後続を断ち、3回には三者連続三振を奪うなど、5回を投げてノーヒット、10奪三振、無失点の圧巻のピッチングを披露しました。6回からは2番手佐藤（一）が登板するがヒットを許し、3番手嵯峨にスイッチ、嵯峨は併殺で切り抜けると、7回も無失点に抑え流れを渡さないピッチングで試合を締め、7-0と投打のかみ合ったナイスゲームで2回戦進出を決めました。

佐野 怜弥 選手
投手/出身校
北照高等学校 ⇒ 仙台大学



嵯峨 恭平 選手
投手/出身校
東海大山形高等学校 ⇒ 東北公益文科大学



吉田 浩隆選手
内野手/出身校
浦和実業高等学校 ⇒ 富士大学



鈴木 哲 監督
出身校
福島高等学校 ⇒ 慶応義塾大学



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

準決勝 V S ゴールデンリバーズ

準決勝の相手は地元秋田県のゴールデンリバーズ。エフコムBCの先発はエース小口。試合は初回、2番大平のツーベース、3番八百板（卓）のヒットで一死一、三塁のチャンスを作るが、あと一本が出ず無得点。

その裏、小口は2つの三振を奪う三者凡退の順調な立ち上がりを見せます。

試合が動いたのは2回。死球と四球、相手のエラーで一死満塁とすると、1番中居が押し出しの四球を選び先制します。

3回には4番伊藤（海）の振り逃げ、5番松嶋のツーベースで無死二、三塁とし、四球で満塁から8番伊藤（琉）の犠牲フライで追加点、さらに二死満塁から1番中居がレフトへ2点タイムリーを放ち、相手のエラーも絡んでこの回4点を奪い5-0とリードを広げます。

援護もらった小口は4回、内野安打と盗塁から犠牲フライで1点を返されますが、5回を投げて1失点と試合をつくりました。

打線は6回、8番伊藤（琉）のタイムリー、9番大川のタイムリースリーベースで2点を追加し7-1。しかしその裏、2番手山上が連打を浴び、4番打者にツーランを打たれるなどこの回4点を失い、7-5と2点差に詰め寄られてしまいます。なおも二死から3番手須藤、4番手長根とつなぎ、四死球で一、二塁とピンチを広げますが、長根が次の打者を一ゴロに打ち取り、なんとかリードを守ります。流れを渡したくない7回、3番八百板（飛）が相手のエラーで出塁すると、代走島崎がすかさず盗塁。4番伊藤（海）の内野安打と暴投で1点を加えると、四死球で満塁とし、7番茨木がレフトへ貴重なタイムリー。続く8番伊藤（琉）が走者一掃のタイムリースリーベースを放ち、9番大川の犠牲フライでこの回5点を奪い13-5と突き放します。その裏、長根が3者連続三振で締め、13-5で決勝進出を決めました。

伊藤 琉晟 選手
外野手/出身校
酒田南高等学校 ⇒ 富士大学

伊藤 海斗 選手
外野手/出身校
酒田南高等学校



小口 優太郎 選手
投手/出身校
東海大学付属浦安高等学校 ⇒ 東海大学



長根 尚輝 選手
投手/出身校
花巻東高等学校 ⇒ 東北公益文化大学



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

決勝 V S 東北マークス

決勝の相手は宮城県の東北マークス。エフコムBCの先発は山形。初回、山形はヒットと盗塁、内野安打で二死一、三塁のピンチを招きますが、5番打者を空振り三振に仕留め、無失点で立ち上がります。

その裏、1番中居がヒットで出塁するも、後続が併殺に倒れ先制とはなりません。ピンチを切り抜けた山形は2回以降、テンポよく打たせて取るピッチングで相手打線を寄せ付けず、6回二死まで14者連続で打ち取ります。

一方の打線も相手先発をなかなか攻略することが出来ません。3回は相手のエラーと盗塁、四球で二死一、二塁、4回は2つの四球で一死一、二塁、5回は8番茨木のヒットで得点圏に走者を進めますが、あと一本が出来ません。山形も6回、ヒットと盗塁で二死二塁とされますが後続を断ち、0-0のまま試合は終盤へ。

均衡が破れたのはその裏。一死から4番伊藤（海）がレフトへヒットを放つと、代走島崎を送り、5番八百板（飛）のセンター前ヒットで一死一、三塁のチャンス。ここで6番吉田が初球スクイズを決め、待望の先制点を奪います。山形は直後の7回、先頭打者にヒットを許し、送りバントで一死二塁と一打同点のピンチを背負いますが、後続を落ち着いて打ち取り試合終了。

山形が7回4安打無四球の完封で1-0の投手戦を制し、見事優勝を果たし、今シーズンを締めくくりました。

山形 胤舜 選手

投手/出身校

弘前学院聖愛高等学校 → 青森大学



中居 泰雅 選手

内野手/出身校

水城高等学校 → 日本ウェルネススポーツ大学



島崎 開史選手

外野手/出身校

日立一高等学校 → 福島大学



大川 剛史 選手

内野手/出身校

日大山形高等学校 → 東北公益文化大学



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。